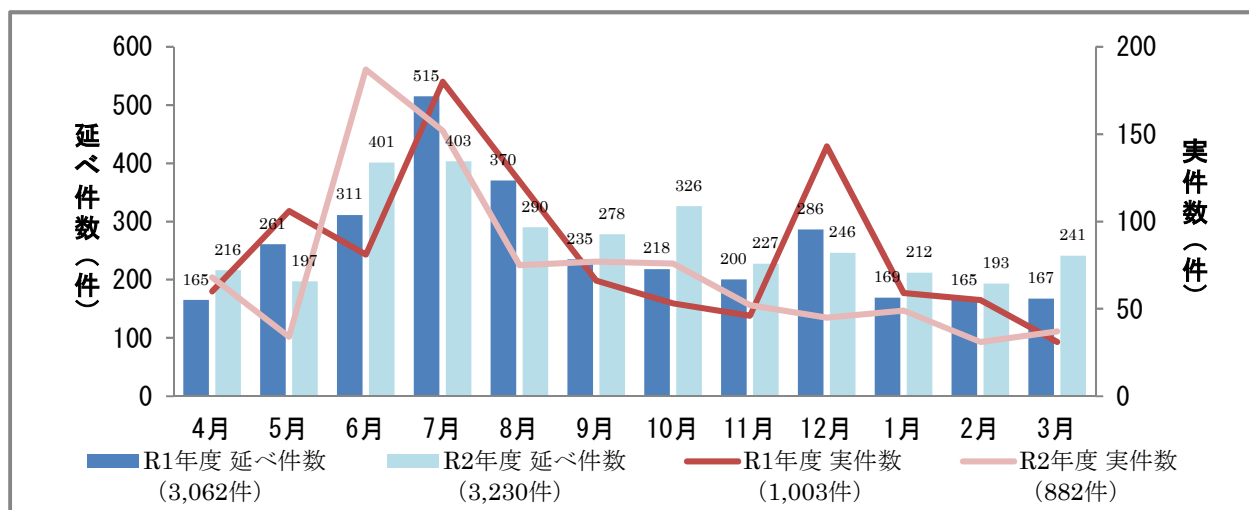
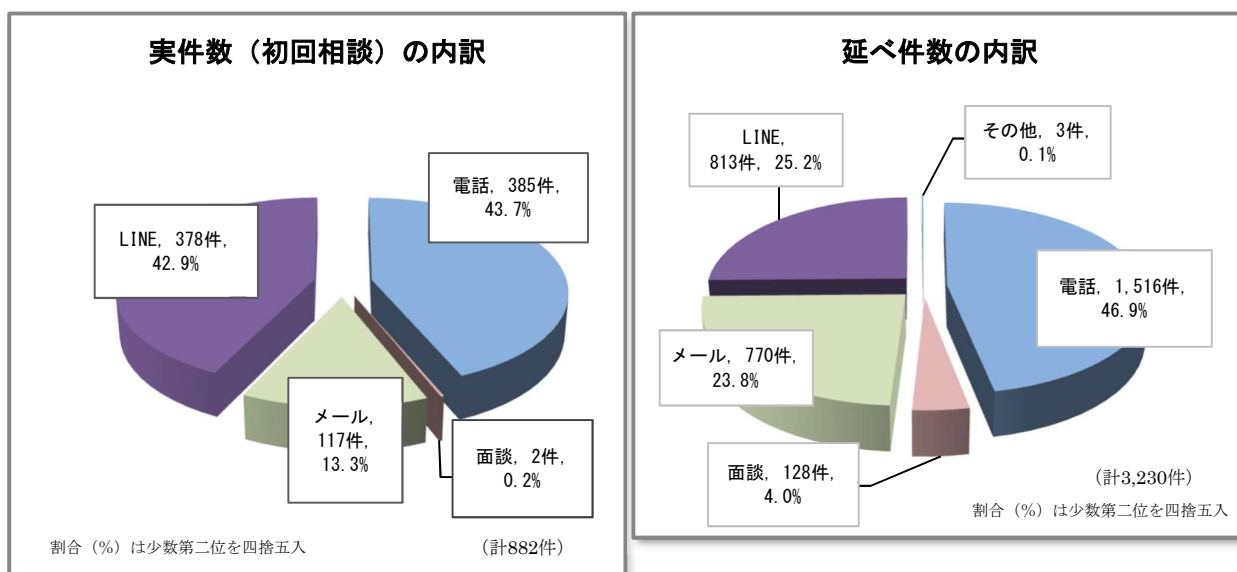


1 月別相談受付状況



令和2年度は、学校が4月から5月にかけて新型コロナウイルスによる臨時休業となったことから、例年より1か月程度遅い5月下旬、6月上旬に子ども用相談カードを配布（5月：高校生、6月：小学生、中学生及び特別支援学校生徒）しました。広報物の配布直後に、PRの効果により相談件数が増加する傾向があります。

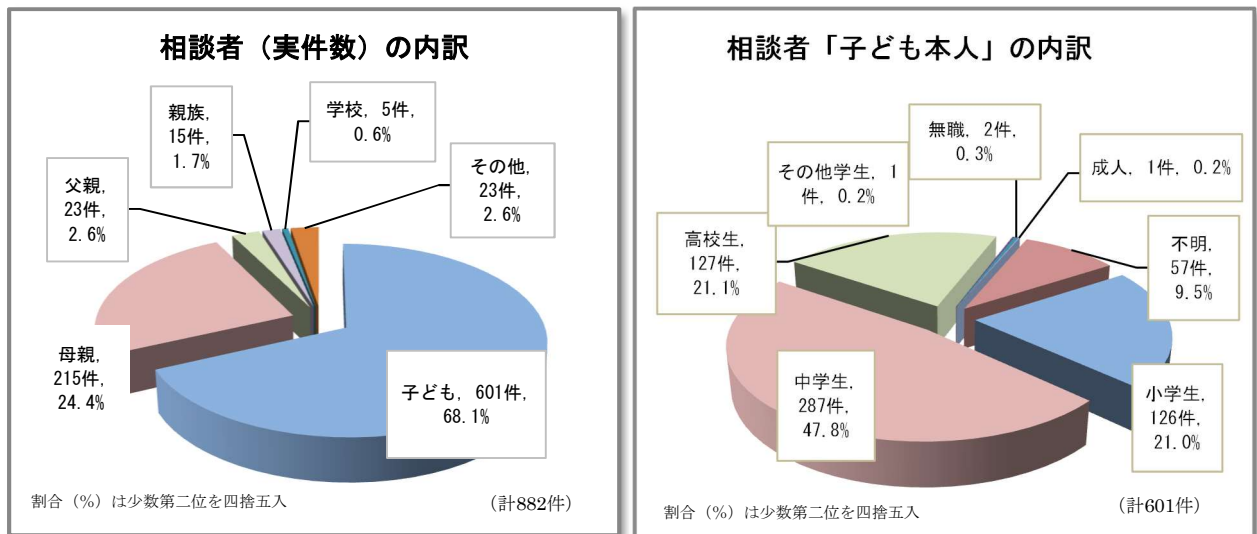
2 相談方法の内訳



実件数 (初回相談) は、電話、LINEによることが多く、それぞれ全体の40%以上を占めています。また、電話は複数回の相談になることが多いため、延べ件数でも全体の47%を占めています。

また、メールによる相談は、やり取りに回数を要することが多いため、実件数 (初回相談) では13%ですが、延べ件数では23%となります。

3 相談者、相談者「子ども本人」の内訳



相談者とは、相談してきた人のことをいいます。子ども本人からの相談が多く、全体の68%です。次に多いのが母親で、本人と母親を合わせると全体の92%を占めています。

また、子ども本人の相談の内訳では、前年度同様、中学生からの相談が全体の約半数を占めています。

延べ件数における相談者と相談方法の集計は、下表のとおりです。

子ども本人からの相談は、今年度より通年実施したLINEによる相談の割合が多く、LINEは子どもにとって気軽に相談できる方法であることがうかがえます。

相談者と相談方法（延べ相談者数）

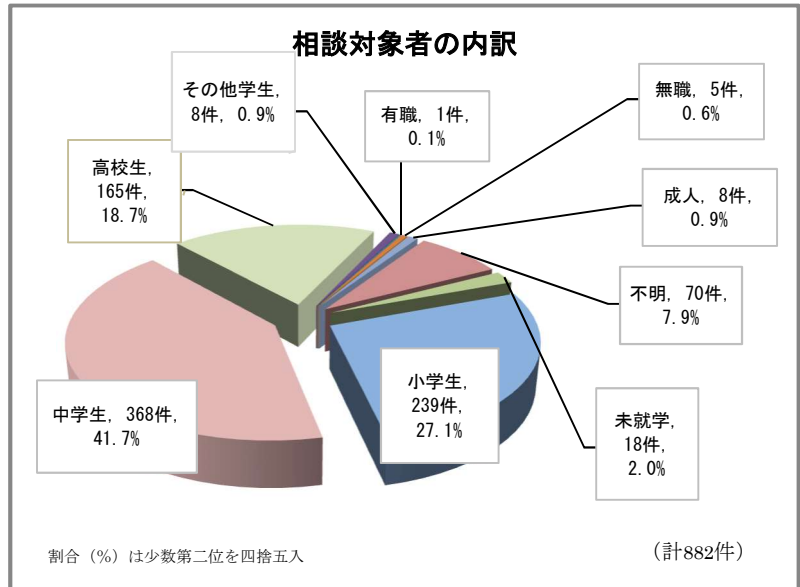
区分	子ども本人	父親	母親	親族	学校	その他	合計
電話	481	186	678	27	73	71	1,516
	14.7%	5.7%	20.7%	0.8%	2.2%	2.2%	46.2%
面談	82	29	44	7	11	6	179
	2.5%	0.9%	1.3%	0.2%	0.3%	0.2%	5.5%
Eメール	663	3	91	0	0	13	770
	20.2%	0.1%	2.8%	0.0%	0.0%	0.4%	23.5%
LINE	803	0	5	4	1	0	813
	24.5%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	24.8%
その他	2	0	0	0	0	1	3
	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
合計	2,031	218	818	38	85	91	3,281
	61.9%	6.6%	24.9%	1.2%	2.6%	2.8%	100.0%

※相談者が複数の場合があるため、相談者数の合計は相談件数と一致しない。

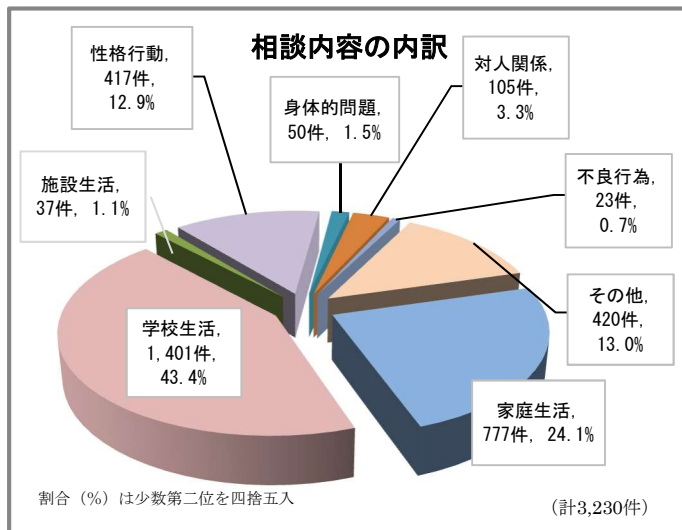
※割合は小数第二位を四捨五入

4 相談対象者⁽⁵⁾の内訳

相談の対象となった子どもの内訳は、小学生が27%、中学生が42%、高校生が約19%となります。



5 相談内容の内訳



子どもアシストセンターでは、相談内容を「家庭生活」、「学校生活」など8項目に分けています。

延べ件数全体で相談内容の内訳をみると、「学校生活」に関する相談が一番多く、次に「家庭生活」、「性格行動」の順に相談が多いのですが、これは例年と同様の傾向です。

さらに相談内容を33の細目に分けると、上位5項目は、下記のとおりです。

子ども (2,031 件)		大人 (1,199 件)	
① 友人関係	357 件 (17.6%)	① 不登校	234 件 (19.5%)
② 親子・兄弟関係	201 件 (9.9%)	② 親子・兄弟関係	158 件 (13.2%)
③ 精神不安	197 件 (9.7%)	③ 養育・しつけ	146 件 (12.2%)
④ 学習・進路	156 件 (7.7%)	④ 子どもと教師の関係	122 件 (10.2%)
⑤ 子どもと教師の関係	150 件 (7.4%)	⑤ いじめ	47 件 (3.9%)

(5) 相談対象者

相談の対象となっている子どもを指します。母親から小学生に関する相談があった場合には、「相談者」は母親となり、「相談対象者」は小学生となります。中学生の子ども本人が自分のことについて相談してきた場合には、「相談者」は子どもとなり、「相談対象者」は中学生となります。